

# 多様な財源確保のための方策について

1. 多様な財源の活用状況（令和6年度）
2. 取組事例の紹介
  - ・ 福井大学
  - ・ 帯広畜産大学
  - ・ 鹿児島大学
  - ・ 兵庫教育大学
  - ・ 神戸大学
  - ・ 信州大学
3. 国立大学法人等へのアンケート結果
4. 検討の論点

# 1. 多様な財源の活用状況（令和6年度）

- 多様な財源を活用し、令和6年度に着工又は借入を開始した事業の財源内訳については、ミッション志向性の強い国からの補助金等（施設整備費補助金除く）が約271億円（46%）と約半数を占める。
- 寄附金や地方公共団体からの補助などステークホルダーからの投資については56億円（9%）に留まっている。

## 財源内訳

|                       |                      |                         |                     |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|---------------------|
| 補助金等<br>271億<br>(46%) | 債券等<br>137億<br>(23%) | 自己収入等<br>131億円<br>(22%) | 寄附等<br>56億円<br>(9%) |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|---------------------|

### 政策目的に対応した国からの補助

#### <主な財源>

- 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業（文部科学省）
- 大学・高専成長分野支援基金助成金（NIAD）
- 産学連携推進事業費補助金（経済産業省）

### 経営戦略に基づく資金調達

#### <主な財源等>

- 長期借入金（財政融資資金除く）
- 大学債

### 大学等の経営努力

#### <主な財源>

- 目的積立金
- 病院収入
- 減価償却引当特定資産

### ステークホルダーからの投資

#### <主な財源>

- 寄附金
- 補助金等（地方公共団体）

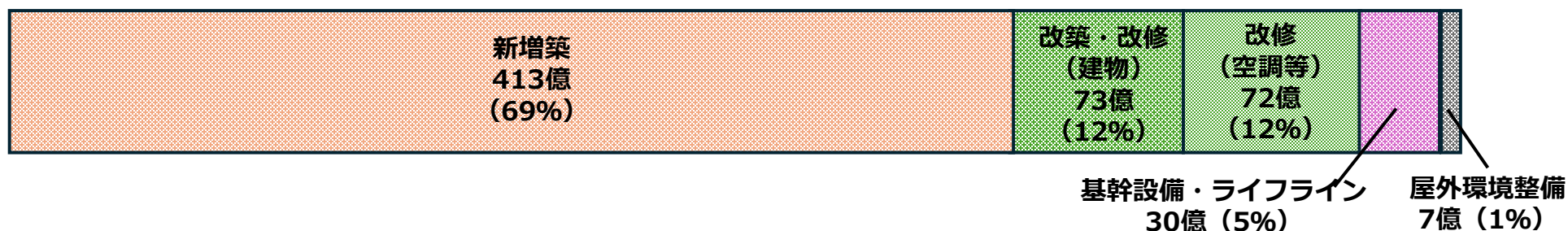
文部科学省計画課調べ

※1 事業費総額が2,500万円以上の事業実績を計上

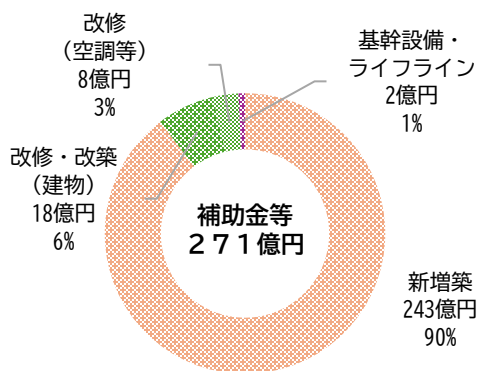
※2 文教施設企画・防災部計画課及び及び大学改革支援・学位授与機構が国立大学法人等に交付する「施設整備費補助金」、「施設費交付金」及び「施設費貸付金（財政融資資金）」は本調査の対象外

- 工事内訳については、新增築が約413億円（69％）と半数以上を占め、老朽改善整備（改修・改築、基幹設備・ライフライン）は約175億円（29％）となっている。
- 補助金等、債券等及び寄附等による整備は新增築の割合が多く、自己収入等による整備は空調更新やLED照明等、建物に付随する設備の改修工事の割合が多くなっている。

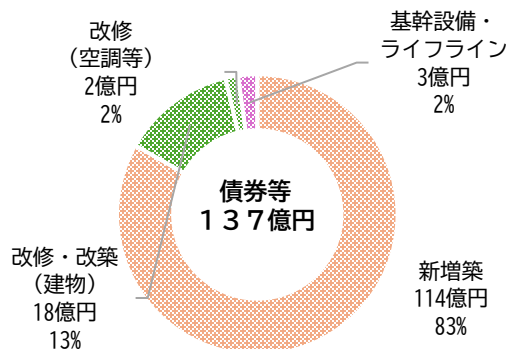
## 工事区分内訳



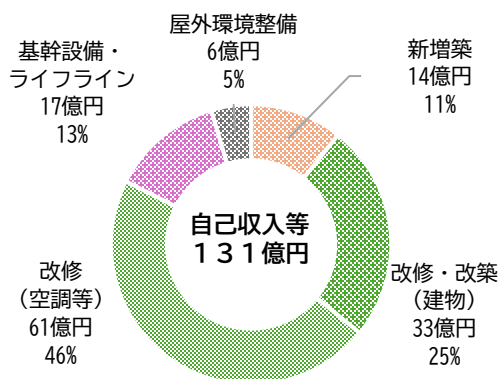
### 工事区分内訳 (補助金等)



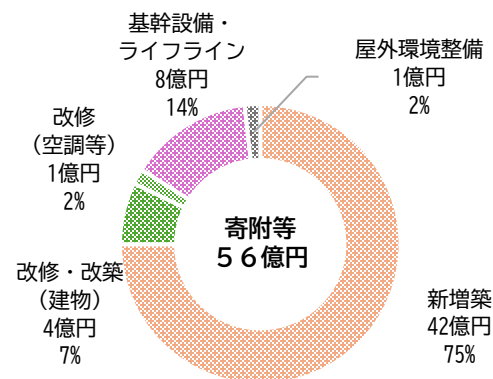
### 工事区分内訳 (債券等)



### 工事区分内訳 (自己収入等)



### 工事区分内訳 (寄附等)



文部科学省計画課調べ

※ 1 事業費総額が2,500万円以上の事業実績を計上

※ 2 文教施設企画・防災部計画課及び及び大学改革支援・学位授与機構が国立大学法人等に交付する「施設整備費補助金」、「施設費交付金」及び「施設費貸付金（財政融資資金）」は本調査の対象外

## 2. 取組事例の紹介

- 最終報告書に向けた検討事項として、多様な財源を獲得する仕組み等について**取組事例の調査を実施し、具体化の方法を検討する**こととしている。
- 議論の参考となるステークホルダーとの連携による事例を以下の通り紹介する。

### 福井大学 〈ふるさと納税・企業寄附〉

#### ▶国立大学法人等が直接実施する整備

- ・福井県がふるさと納税により実施する「県内大学の魅力向上応援プロジェクト」等を通じて学生交流スペース「木立ちの広場」を整備。

### 帯広畜産大学 〈定期借地権・民間資金〉

#### ▶民間事業者による整備事例

- ・酵母、発酵に関する教育研究等の活性化を図るため民間事業者に大学の敷地を貸付け（定期借地権）学内に誘致。民間事業者が酒蔵「碧雲蔵（へきうんぐら）」、併設するセミナー棟を整備し連携。

### 鹿児島大学 〈企業版ふるさと納税・補助金等〉

#### ▶地方公共団体による整備事例

- ・畜産が基幹産業である曽於市が企業版ふるさと納税を活用して廃校校舎の改修等により「南九州畜産獣医学拠点」を整備し、連携。共同獣医学部の教育研究施設として活用。

### 兵庫教育大学 〈地方公共団体の整備〉

#### ▶地方公共団体による整備事例

- ・兵庫県が震災復興の一環として様々な教育機関が集う「新長田キャンパスプラザ」を整備し、連携。現職教員等に対する実践的指導力の育成、心理専門職養成の拠点として活用。

### 神戸大学 〈ネーミングライツ〉

#### ▶保有資産の有効活用

- ・企業からの徴収したネーミングライツ料を活用して施設の維持管理や修繕等を実施。

### 信州大学 〈土地利用計画制度〉

#### ▶地区計画等の都市計画制度の活用

- ・信州大学からの申出により、松本市が地区計画を定め、条例による建築物等の用途規制を緩和。職員立体駐車場を整備。

## 2. 取組事例の紹介（国立大学法人等・民間事業者が整備する手法）

### 整備事例 1

#### 福井大学＜ふるさと納税・企業寄附＞



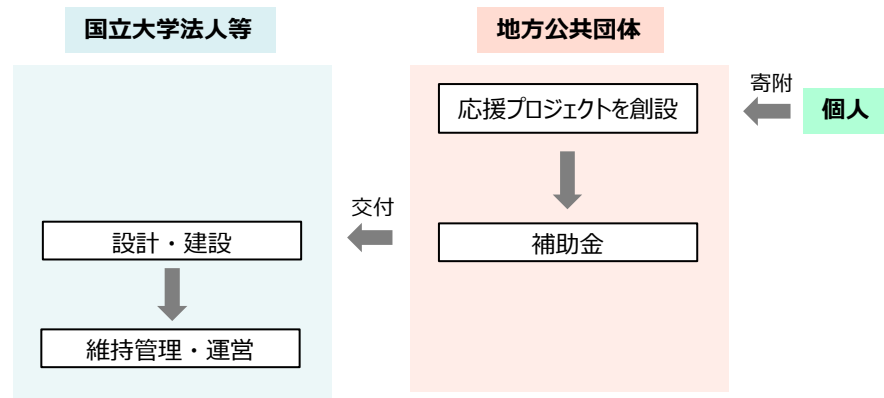
建物：国立大学法人等  
土地：国立大学法人等

##### ＜整備手法の概要＞

地方公共団体が、域内に所在する学校に対する**応援プロジェクトを創設**する。

応援プロジェクトの対象となっている学校の中から、**寄附者が支援した学校を選択してふるさと納税**を行う。

寄附を受けた地方公共団体は、**寄附者が指定した学校へ助成**を行う。



福井大学（文京キャンパス）  
学生交流スペース「木立ちの広場」

ふるさと納税（福井県「県内大学の魅力向上応援」）や企業からの寄附金等を用いて、学生交流スペース「木立ちの広場」を整備。

### 整備事例 2

#### 帯広畜産大学＜定期借地権・民間資金＞

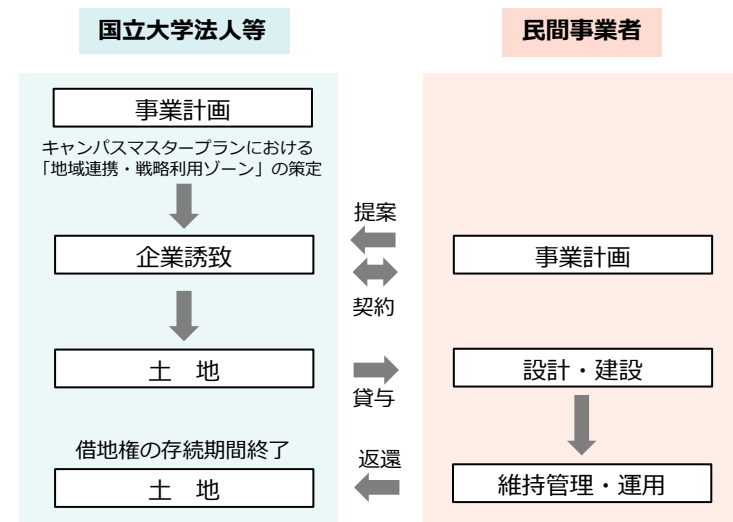


建物：民間事業者  
土地：国立大学法人等

##### ＜整備手法の概要＞

国立大学法人等の土地の一部に「**定期借地権**」を設定し、**民間事業者に土地を貸与**する。

民間事業者は設計・建設を行った後、賃料や事業収入により建設費の償還を行うとともに、維持管理費、運営業務を実施する。



帯広畜産大学  
酒蔵「碧雲蔵（へきうんぐら）」

事業用定期借地契約にて貸与した土地に事業者が、仕込みをする製造棟や大学の講義にも活用できるセミナー棟を建設。

当該施設を利用して、国立大学法人等と民間事業者による共同研究及び人材育成を実施。

## 2. 取組事例の紹介（地方公共団体が整備する手法）

### 整備事例3

#### 鹿児島大学

#### 〈企業版ふるさと納税・補助金等〉

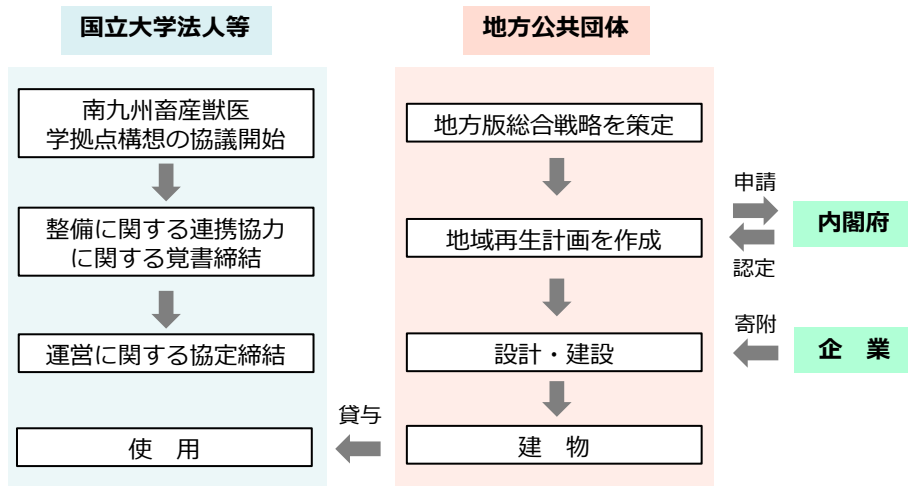
##### 〈整備手法の概要〉

**企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用**し、地方公共団体が施設等を整備する。

整備した施設等について、地方公共団体が国立大学法人等に使用を許可する。



建物：地方自治体  
土地：地方自治体



鹿児島大学共同獣医学部附属  
南九州畜産獣医学教育研究センター

旧県立高校の校舎等を改修し「南九州畜産獣医学拠点」を整備。  
鹿児島大学の共同獣医学部の教育研究施設として活用。

### 整備事例4

#### 兵庫教育大学

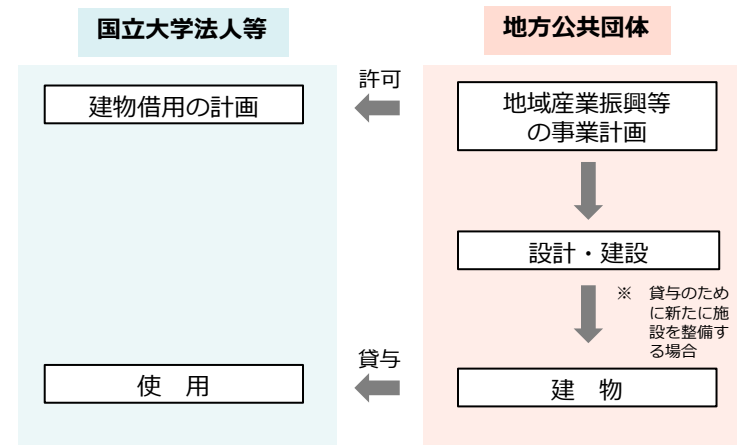
#### 〈地方公共団体の施設の借用〉

##### 〈整備手法の概要〉

地域の産業振興等に資する研究開発等の用に供する**土地・建物等を地方公共団体が国立大学法人等に対して貸与等**を実施する。



建物：地方自治体  
土地：地方自治体



兵庫教育大学（神戸新キャンパス）  
新長田キャンパスプラザ

既存サテライトキャンパスの狭隘化が課題となっていたことから、兵庫県が新たに整備する教育複合ビルの新設に併せてキャンパスを移転。

## 2. 取組事例の紹介（保有資産の有効活用）

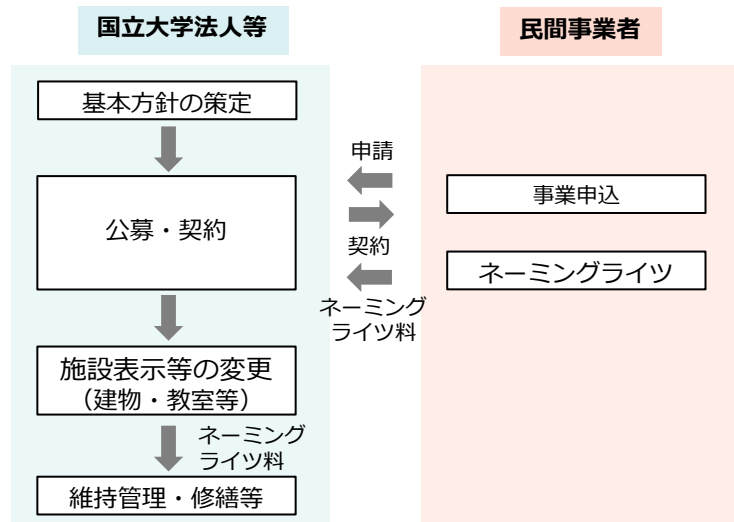
### 整備事例 5

#### 神戸大学〈ネーミングライツ〉

##### 〈整備手法の概要〉

施設や教室等のネーミングライツ（施設命名権）を付与することで、民間事業者から料金を徴収する。

民間事業者からの徴収した**ネーミングライツ料を活用して建物の維持管理や修繕等を実施**する。



神戸大学（鶴甲第1キャンパス）  
国際文科学図書館棟（ラーニングコモンズ）

ネーミングライツ料の50%は施設管理部局（研究科等）の予算として建物維持管理や修繕等に使用。

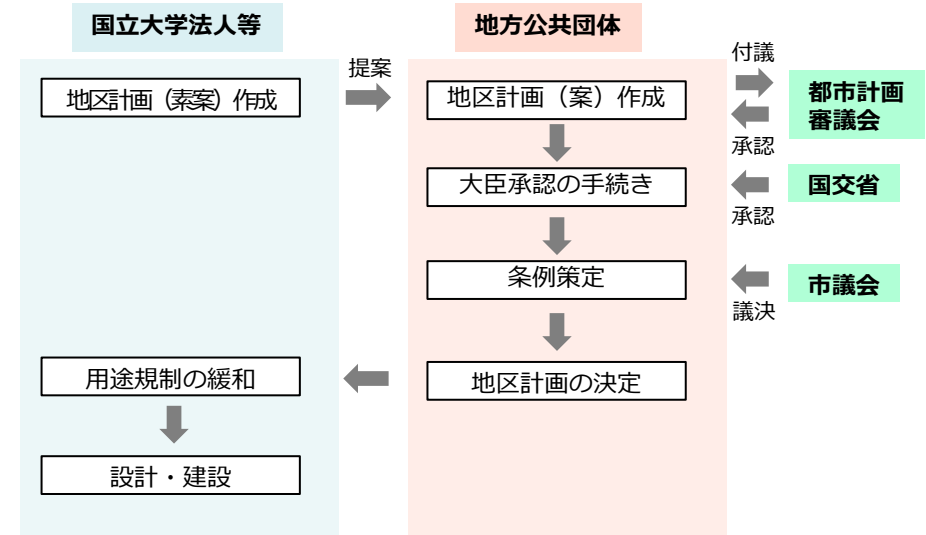
また、施設管理部局（研究科等）から建物の老朽化対策に用いる予算を徴収しており、その一部にも使用され、まとまった予算で計画的な性能維持改修を実施。

### 整備事例 6

#### 信州大学〈地区計画等の都市計画制度の活用〉

##### 〈整備手法の概要〉

地区計画等の都市計画制度を活用し、地区計画を策定することを市町村に提案する。**市町村は国土交通大臣の承認を得て条例を制定し、用途規制を緩和**する。



信州大学（松本キャンパス）  
松本キャンパス地区 地区計画

建築基準法の規定にかかわらず、床面積の合計が300㎡を超える自動車庫、又は3階以上の階にある自動車庫でも建築することができるよう地区計画を変更。

### 3. 国立大学法人等へのアンケート調査結果

- 国立大学法人等に対して多様な財源の確保に係る国からの支援策として期待することについて、Microsoft Formsにてアンケート調査を実施。
- 回答いただいた内容のうち、主な回答内容は以下の通り。

#### 【アンケート概要】

#### Q. 今後、国に対して多様な財源を確保するために期待する取組等はあるか。

調査対象：各国立大学法人等の施設担当部課      調査期間：令和7年2月10日(月)～2月27日(金)

#### 結果（概要）

※ 自由記述方式により得られた各大学等からの回答を要約

#### ■ 多様な財源を活用した事例紹介

- ・ **ケーススタディ**（契機、背景、ステークホルダーとの連携、学内体制等）
- ・ **財源・整備手法別のメリット、デメリット**
- ・ **個別観点事例**（小規模・文科系大学、屋外運動場、ネーミングライツ等）

#### ■ 補助金等に係る情報提供

- ・ 予算案閣議決定時や予算成立時等 **タイムリーな情報発信**
- ・ 活用可能な **事業一覧（公募スケジュール等含む）**、データベース化による情報共有

#### ■ その他

- ・ 施設整備に活用できる **新たな支援のための省庁間連携**
- ・ 多様な財源に係る **各大学資料の共有化、財源のマッチング支援**

## 4. 多様な財源確保に向けた検討の論点

### 【中間まとめを踏まえた基本認識】

- ✓ 国立大学法人等は「知と人材の集積拠点」として、未来を担う人材の育成や、社会の新たな価値の創出に欠かせない役割を果たしている。こうした役割に鑑みれば、**国立大学法人等がその機能を最大化するための空間の創造にあたり、社会から広く投資を呼び込むことが今後ますます求められていく**こと。
- ✓ 施設整備にあたり、**国は最重要課題である老朽施設の耐災害性の強化や機能強化を図るための整備、ライフラインの更新について重点的に推進し、必要な予算の確保や運用改善の検討に努める**必要があること。また、**多様な財源の活用を推進**すること。
- ✓ **国立大学法人等は、産官学金等の様々なステークホルダーとの連携により多様な財源の確保・充実を図る**ことや国や地方公共団体から様々な補助金やふるさと納税も含めた企業や個人による寄付金の活用を検討等することが重要であること。

### 論点1 地域社会や産業界から投資を呼び込む前提となるコミュニケーション

- 施設整備に投資を呼び込むにあたり、国立大学法人等が有する**教育研究のシーズやコンテンツを地域社会や産業界に理解してもらうための方策**はどのようなものが考えられるか。また一方で**地域社会や産業界からの施設整備に対する期待を把握するための方策**はどのようなものが考えられるか。
- 中間まとめでの事例にもあるように、国立大学法人等の施設で行われた共創活動の成果が地域社会に還元される例も出てきているが、**施設整備への投資効果を社会に理解してもらうための方策**はどのようなものが考えられるか。

## 論点2 地方大学や単科系大学等への支援

- 地方に所在している国立大学法人等や、人文社会系・教員養成系の国立大学法人等をはじめとして、その**規模や地域性から投資を呼び込むことが難しいとも考えられる国立大学法人等に対しての支援、後押し**はどのようなものが考えられるか。

## 論点3 改修による施設整備への多様な財源の充当

- これまでの実績によれば、多様な財源は新增築整備に活用されている例が多いが、**改修整備による機能強化に多様な財源を利用するための方策**はどのようなものが考えられるか。

## 論点4 補助金等を使用する手続面での課題

- GX や地方創生などミッション志向性の強いプロジェクトにおいては、寄附金等の民間資金、国からの補助金等、自己財源を合わせて施設整備を行うことも合理的であるが、この際の**補助金等の使い勝手、手続面のコスト等**は適切であると考えるか。また、**地方公共団体、民間事業者等が資金を拠出する際の制度上の隘路等**があるとすればどのようなものか。

## 論点5 多様な財源を獲得するための国立大学法人等の体制

- 国立大学法人等の施設整備に対して**社会から広く投資を呼び込むために必要となる国立大学法人等の組織体制**とはどのようなものか。資金調達を担う**ファンドレイザー**や補助金等に詳しい**URA**などに参画いただくことが有益か。
- 国立大学法人等の**施設マネジメント（スペースチャージや省エネルギー化など）により生み出された資金を、施設整備に再投資するための適切な組織体制**とはどのようなものが考えられるか。